

ひとりの小さな手プロジェクト

第30回 チャリティーコンサート リポート

ご挨拶

野毛山キリストの教会 牧師 奈良 昌人

2011年3月11日、東日本大震災が起こったとき、ひとりひとりの力は小さくてもみんなの力を合わせれば何かができる…と教会、子どもの教会、幼稚園が一つになって「ひとりの小さな手プロジェクト」を立ち上げました。それから15年、被災地、また、ウクライナの子どもたちへ想いを馳せてチャリティーコンサートを開催し、今回で第30回になりました。

去る7月28日(火)にコンサートのリハーサルを行ったそのあと、熊本では大きな地震が起こり、今、この猛暑の中で大変な思いをしておられる方々がたくさんおられます。

8月第1日曜日は当教会の平和聖日でもあります。

今、苦しんでおられる方々の上に主の慰めと励ましがあがり、一日も早く平安な日々がおとずれますように。そして、世界に主にある平和が来ますように、皆でこころを合わせて祈りましょう。

ひとりの小さな手プロジェクト 根岸ひろみ

本日は、「ひとりの小さな手」第30回チャリティーコンサートにお越しいただき、ありがとうございました。

「ひとりの小さな手」の活動は、15年前の2011年3月11日に東日本大震災が起こった直後から始まりました。あまりの被害の大きさに、どうしたらよいのだろう、私たちに何ができるのだろうと思い悩んでいたところへコカリナ奏者の黒坂黒太郎さんから『被災地にメッセージを送りませんか』とお声掛けをいただき、本日出演してくださった高田ひろ子さん、たまゆらの皆さんと一緒に『エール』を演奏し、子どもたちからのメッセージと併せて被災地に届けました。そのメッセージ作成をきっかけに、私たちにできることは小さいけれど何かできる、できることをしよう！と動き始めることができました。当初は日用品、衣類、家電など被災地で不足しているさまざまな物を集め、何十個もの段ボールに詰めて送ることから始まりました。15年の時が流れましたが、この間にコンサートは30回もの回を重ね、バザー、募金、さまざまな形で多くの皆さまに心を寄せていただき、小さな支援活動を続けて来られましたことに心より感謝申し上げます。そして、平和聖日である今日、こうして素敵なお音楽に満たされ、皆さまと共に被災地や戦禍にある人々に心を寄せて祈ることができましたことに感謝です。世界には今この時も、戦いによって大切な命が失われ、多くの方が負傷し、たくさんの大切なものが奪われている現実があることを忘れず、子どもたちの希望にあふれる平和な未来のために日々祈り、できることをしていきたいと思っております。また、先日の熊本での地震で被災された方々への支援も、お顔の見える支援を考え、早急にできることをしていきたいと思っています。小さな支援ではありますが、「忘れない 私たちはいつも心を寄せて祈っています」という思いと共に、困難な状況にある方々が少しでも笑顔になっていただけるような元気の源を届けられますよう、今後もどうぞよろしくお願いいたします。暑さ厳しい日々ですが、皆さまが健やかで心安らかな夏を過ごされますようお祈りしています。

第30回 チャリティーコンサート

平和を祈り、笑顔を広めよう…

セットリスト…



今日のコンサートは、東日本大震災が起こった時に被災地を応援しようと集まったメンバー、ジャズピアニストの高田ひろ子さん、そして当時、一緒に演奏したメンバー、それから、のげやまファミリーでおおくりします。今日は平和の日。世界で起きている戦争が1日も早く終わりますように、そして地震や大雨、火事など自然災害に遭って大変な思いをしている方々を覚えて、最後まで過ごしましょう。

♪ アメイジンググレイス

たまゆら(コカリナ)

♪ YELL

曲／水野良樹
たまゆら&ひだまり(コカリナ)

2011年、当時のメンバーで このいきものがかりのYELLを演奏して録画をし、応援メッセージと共に被災地に送りました。

♪ What a Wonderfull World

高田ひろ子(ピアノ)

今から約90年前、ベトナム戦争が起こった頃、平和な世界を夢見て作られた曲。

What a Wonderfull World

素晴らしい世界になることを願って…

♪ Imagine

詞・曲／ジョン・レノン
高田ひろ子(ピアノ) 奈良昌人(歌)

『平和な世界を想像してごらん』という意味の歌です。皆さんも平和な世界になることを想像しましょう。そして自分にできることを考えてみましょう…



♪ カイト

曲／米津玄師

北迫真弥(フルート)&森本やよい(ソプラノサックス)

東京オリンピックの公式ソングとしてオリンピックの空をイメージして作られた曲です。広い空で世界が一つになるよう、平和への願いをこめて…

スマイルリレー...

世界に笑顔が広がるように…との願いをこめて スマイル《笑顔》をテーマにした曲の演奏です…



♪スマイル 曲／チャーリー・チャップリン
たまゆら

チャップリンの映画《モダンタイムス》の挿入歌
SMILE。笑っていると明るい明日が常にある…と
元気づけている歌詞です…

笑って！心が痛んでも
笑って！心がおれそうでも
曇り空の時も 何とかなる！
もしあなたが笑っていれば…

♪スマイルスマイル 詞／平原綾香 曲／内池秀和
北迫真弥&森本やよい

東日本大震災の大変な状況の中でも、笑顔で前を向
こうとする姿に心うたれて感動して作られた曲です。
「ダーウィンが来た！」の主題歌にもなっていました。

涙は見せないで 笑いながら
人を思えるあなたは いちばん 強いと思う
痛みが多い人ほど 笑えるのだから
スマイルスマイル 大丈夫
傷ついて 負けそうでも
すべてを笑顔にかえ
ほんとのあなたをはじめよう ~



♪スマイル 詞・曲／北川悠仁
澤野 可奈(ソプラノ)

人気デュオ ゆずのスマイル。

涙をふいて 空を見上げて
君の微笑みが 世界を変える スマイル！



スマイル！

世界中が
笑顔になりますように。

そして、みんながお互いに優しさをもって支え合い、未来を信じて歩んでいきましょう。

I believe in future 信じてる シャローム！



出演してくださった皆さん、ありがとうございました…

コンサート終了後に感想を送ってくださった方の中から・・・

第30回チャリティーコンサートありがとうございました。同じ思いを持って奏でられる楽器や歌声に、ずっと聴き入っていました。一人ひとりができることは限られているけれど、野毛山幼稚園という同じ体験があることで、世代を超えた縦のつながり、支援で広がる横のつながりが、どんどん広がって大きな力になっていることを感じずにはいられません。熊本地震では、海保は発災の翌日から巡視船を派遣して、船の清水タンクから給水支援や船のお風呂で入浴支援などを行っています。小さな組織ですが、海からの被災地支援を行っています。この当たり前がずっと続くように、自分も仕事以外でもできることはある、と思う時間でした。
ありがとうございました。

広島 澤井幸保

多くの仲間がチャリティーコンサートを盛り上げて素晴らしい！

清里 八田高聡

ひとりの小さな手プロジェクト 今回30回目のチャリティーコンサートありがとうございました。今、世界中が異常気象、森林火災、戦争、酷暑日そして熊本地震、心苦しいことばかり。今回のプログラムの中に、ジョンレノンのImagine(想像してごらん)と北川悠仁のスマイル。この詩の中にあるように向こう側の事を想像しながらスマイル(微笑み)を大切にし、[小さな手ひとりの手]私の小さな手で出来る事をしていこうと改めて思いました。この暑さの中、企画、準備、そして温かみのある素晴らしい演奏🎵大変だったと思います。一緒に手話もでき、懐かしい人にもお会い出来てスマイル！楽しかった一時。また楽しみにしています。
ありがとうございました。

谷内うらら

ポーランドの坂本龍太郎さんからメールが届きました。次回の来日は11月頃の予定ということで、間が空きますので、教会の分と合わせて35万円をウクライナの子どもたちを支える会に送金いたしましたことをご報告いたします。

ポーランドの坂本龍太郎さんより

ウクライナでの戦争は長期化していますが、今年に入ってから過去最大規模の都市部への攻撃が続いており、6月は今までで最も多くの民間人がウクライナで亡くなりました。9月から新学期が始まるため、昨日はテルノーピリ州の小学校への支援物資を届けたところです。11月に一度帰国するかもしれません。私の住んでいるポーランドの自治体と長野県坂城町が姉妹都市提携を結んだため、こちらから日本に代表団を送る計画が進んでいるんです。11月に一時帰国できればぜひまた訪問させてください。

熊本の地震、私もとても心を痛めております。なんせ10年前に起こったばかりだというのに、それに猛暑や雨もとなると避難している人々のことが心配でなりません。ウクライナでは冬に電力がなく暖を取ることが難しくなるため、冬の避難生活は困難を極めます。夏はまだましだと考えていたのですが、熊本を見ると夏こそ大変な状況なのかもしれないと考えるようにもなりました。

私自身アメリカ留学中にプロテスタント教会に毎週通っており、このような形で野毛山キリストの教会の皆さんとつながっていること大変うれしく思っています。今後ともどうぞよろしくお願いします。皆様にくれぐれもよろしくお伝えください。(いただいたメールから抜粋)



破壊された校舎

2022年3月の初めに、校舎がミサイル攻撃を受けて、全滅。現在も再建の目途は立っていないようです。

一日も早く戦争が終わり、みんなが安心して生活できることを祈らずにいられません。遠いポーランドの地でウクライナの子どもたちを支えておられる坂本さんが守られて活動されますよう、心からお祈りいたします。